

中央区内景気動向調査

令和6年6月調査結果

令和6年7月31日

中央区

総 括

令和6年6月の動き

中央区内における6月の現状判断D Iは合計で54.3と、前回調査から4.7ポイント低下している。景気の先行き判断D Iは合計で50.0と、前回調査から3.7ポイント低下している。

図表 景気の現状判断D I、先行き判断D I（合計）

(D I)	令和6年			前回調査 からの変化
	2月	4月	6月	
合計				
現状判断D I	58.5	59.0	54.3	(-4.7)
先行き判断D I	54.3	53.7	50.0	(-3.7)

目 次

調査の概要	1 頁
調査結果	
1 景気の現状に対する判断	2 頁
2 景気の先行きに対する判断	3 頁
3 現在の景気水準に対する判断（参考）	4 頁
4 判断理由	
(1) 景気の現状に対する判断理由着目点	5 頁
(2) 景気の現状に対する判断理由	6 頁
(3) 景気の先行きに対する判断理由	8 頁
（別紙）調査客体の分野・業種別人数構成	10 頁
中央区内景気動向調査 調査票	11 頁
(1) 家計動向関連	
(2) 企業動向関連	

調査の概要

1 調査の目的

中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の客体

中央区内の家計動向関連、企業動向関連で、代表的な経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種において、適当な職種の中から選定した50人を調査客体とする。調査客体の分野・業種別人数構成については、別紙を参照のこと。

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) (2)の追加説明及び具体的状況の説明
- (4) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (5) (4)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4 調査月及び調査期間等

調査月は年6回の隔月に当月時点で実施、調査期間は調査月の中旬約1週間で、令和6年6月調査の調査票発送は6月7日（金）、回答期限は6月18日（火）である。

5 調査機関

本調査は中央区が主管し、委託先である株式会社日本経済研究所を取りまとめ調査機関として実施したものである。

6 有効回答率

調査客体50名に対し、有効回答客体は47名、有効回答率は94.0%であった。

7 DIの算出方法

景気の現状、または、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて、DIを算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

2 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の中央区内における景気の先行き判断D Iは合計で50.0と、前回調査から3.7ポイント低下している。分野別にみると、家計動向関連D Iは46.6と、前回調査から3.4ポイント低下し、企業動向関連D Iは53.0と、前回調査から4.0ポイント低下している。構成比では、「やや悪くなる」と回答した人の割合が12.7ポイント増加し、「変わらない」と回答した人の割合が6.3ポイント減少した。

図表2 - 1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

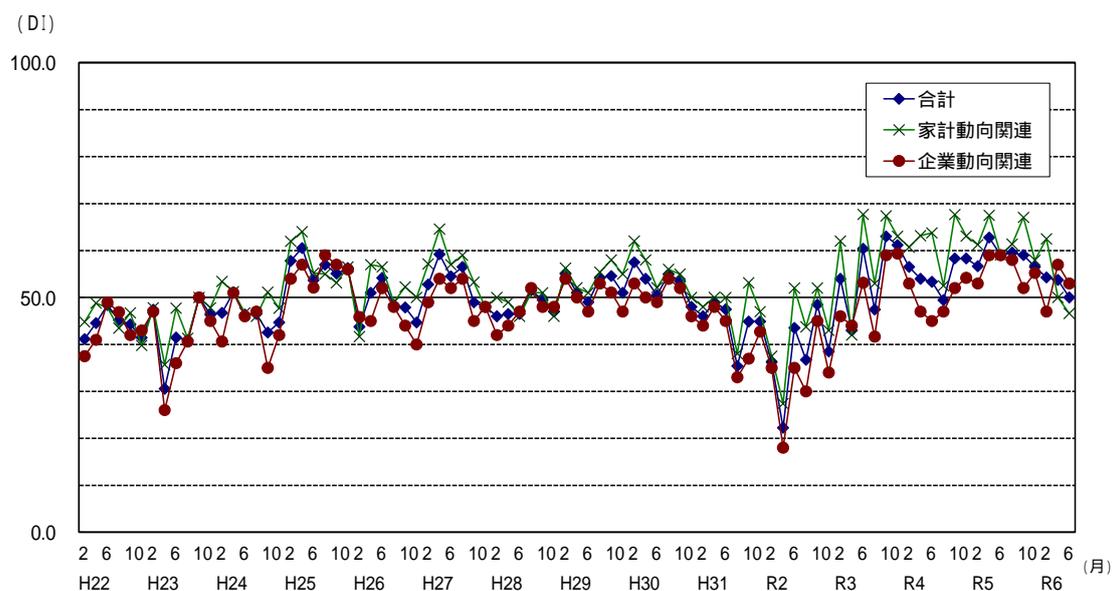
(D I)	令和6年			
	2月	4月	6月	(変化幅)
合計	54.3	53.7	50.0	(-3.7)
家計動向関連	62.5	50.0	46.6	(-3.4)
小売関連	56.3	52.1	50.0	(-2.1)
飲食関連	-	-	-	(-)
サービス関連	70.8	50.0	41.7	(-8.3)
住宅関連	-	-	-	(-)
企業動向関連	47.0	57.0	53.0	(-4.0)
製造業	35.0	45.0	40.0	(-5.0)
非製造業	50.0	60.0	56.3	(-3.7)

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

図表2 - 2 構成比

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
令和6年	2	6.4%	27.7%	48.9%	10.6%	6.4%
	4	4.3%	23.4%	57.4%	12.8%	2.1%
	6	2.1%	21.3%	51.1%	25.5%	0.0%
(変化幅)		(-2.2)	(-2.1)	(-6.3)	(12.7)	(-2.1)

図表2 - 3 各分野における景気の先行き判断D Iの推移



3 現在の景気水準に対する判断（参考）

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった（注）。

図表3 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移

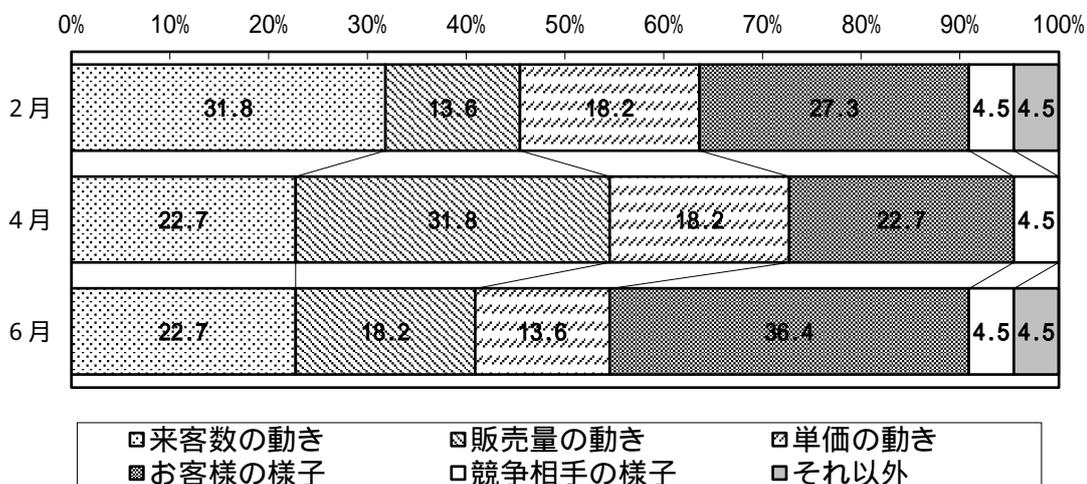
(D I)	令和6年		
	2月	4月	6月
合計	53.7	59.0	56.4
家計動向関連	63.6	64.8	64.8
小売関連	64.6	66.7	64.6
飲食関連	-	-	-
サービス関連	62.5	62.5	62.5
住宅関連	-	-	-
企業動向関連	45.0	54.0	49.0
製造業	25.0	45.0	50.0
非製造業	50.0	56.3	48.8

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

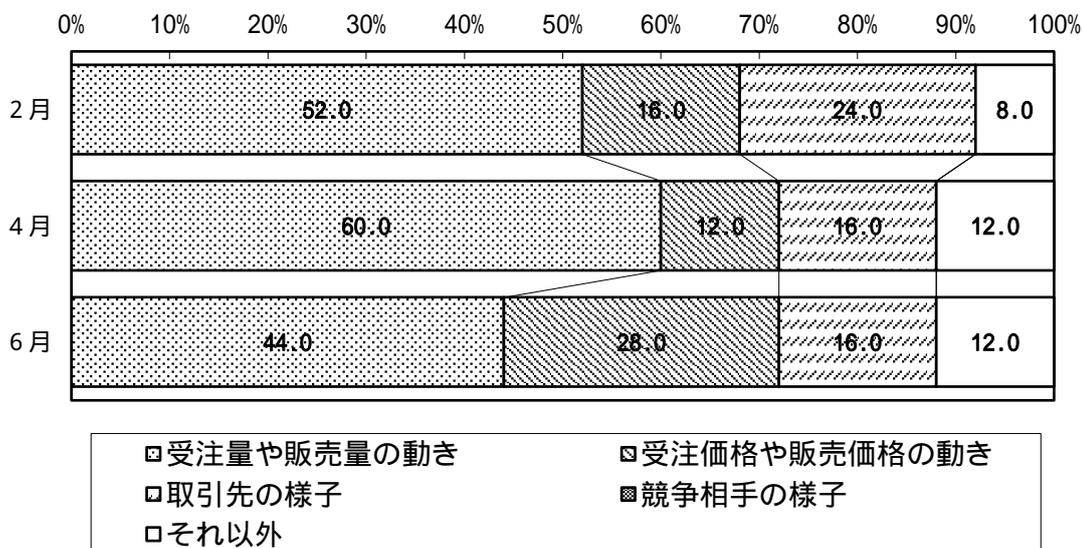
(注)景気の現状をとらえるには、景気の方加性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

4 (1) 景気の現状に対する判断理由着目点

家計動向関連



企業動向関連



注) 本グラフは景気の現状に対する判断理由着目点の構成比を示している。
割合が0%の場合、数値は表記していない。

4 (2) 景気の現状に対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	一般小売店〔文具〕(販売担当)	来客数の動き	・4～5月とインバウンドの増加が続いており、当地域は好調に推移している。この期間に開催したイベントも活況を呈している。
	やや良くなっている	スーパー(店長)	お客様の様子	・インバウンドの影響で需要が伸びている。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・引き続きインバウンドが好調であり、売上比率は3か月前の40%から今月は60%まで伸びている。インバウンドの伸びがそのまま売上増加につながっている。
		高級レストラン(副店長)	単価の動き	・宴会やフリー客の単価が上がっている。
		一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・修学旅行生がそれなりに多く来るようになってきている。週末の観光客数も増えている。
		一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・例年に比べて蒸し暑さが少なく過ごしやすいのか、インバウンドも含めて来客数の減少が少ない。
		都市型ホテル(経営者)	単価の動き	・訪日客の増加により客室単価が上振れしている。
	変わらない	一般小売店〔事務用品〕(営業担当)	お客様の様子	・売上の増減の話ではなく、このところ客の移転が多いように感じる。理由は不明だが、今後に影響があると思われる。
		高級レストラン(経営者)	お客様の様子	・インバウンドは増加しているが、単価としては低く、利益率は望めない。その反面、社用による予約が伸びている。また、特定の日に予約が重複している。
		都市型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・4月の花見シーズンに比べて、インバウンドが若干減少している。
やや悪くなっている	百貨店(総務担当)	単価の動き	・記録的な円安の影響を受け、いわゆるインバウンド売上は過去最高を記録しているが、値上げ等により国内客の消費動向にやや陰りが見えてきている。一方、国内富裕層は、依然として堅調に推移している。	
	理容室(経営者)	お客様の様子	・客は、特定の消費にしかお金を使っていない。国内客は外食や旅行に費やして、他の物は買い控えをしている。インバウンドも同様で、観光に重点をおいて消費している。	
悪くなっている	-	-	-	-
企業 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	新聞業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・業種によっては見通しを上回る受注先が出てきている。
		印刷業・製本業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・販売価格は上昇しているものの、仕入価格も上昇しており、利益が増加している実感はない。
		建設業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注は多数あるが、資材価格の上昇に加え、人員が不足している。
		通信業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・ランニングコストが月額80万円の提案でも本格検討のフェーズに至る案件が増えている。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・支店を多くを持つ企業において、複数拠点の機器を同時に更改するようなケースが散見される。
		不動産業(企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・マンションの販売価格が上昇しても、販売状況は引き続き好調である。オフィスは拡張、集約需要が旺盛で、賃料の坪単価も上昇傾向にある。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕(管理担当)	受注価格や販売価格の動き	・人件費単価の値上げが認められるケースが多くなっている。
	変わらない	出版業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・新年度に入ってから受注量、販売量共に大きな動きはない。実績も前年同期と変わらない。
		卸売業〔機械器具〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・このところ低水準のままで停滞している。
経営コンサルタント		取引先の様子	・来客数に変化はないが、国内客からインバウンドへシフトしている。物価高に賃金が追い付いていないと考えられる。	
その他サービス業〔ビルメンテナンス〕(営業担当)		受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比較して、金額及び予算に対しての達成率にさほど変動がみられない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	出版業（経営者）	それ以外	・物価高があらゆる消費の場面で露呈し、買い控えが急ピッチで広がっている。
		卸売業〔繊維・衣服等〕（経理担当）	取引先の様子	・増税の話ばかりである。
		卸売業〔機械器具〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末及び年度末繰越の売上が3か月前にあったので、比較すると売上、受注量は少なくなっている。
	悪くなっている			

4 (3) 景気の先行きに対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	都市型ホテル(経営者)	・政策効果は余り期待できないが、外国人客の増加が補っている。
	変わらない	一般小売店[文具](販売担当)	・高止まりしたままで変わらない。インバウンドは欧米に加え中国人客が増加してきており、今後も高止まりのまま変わらない。
		一般小売店[食品](店長)	・物価上昇が続くなか、電気・ガス価格激変緩和対策補助金も終了し、ますます財布のひもが固くなる。まずは毎日の食費から見直すのではないか。
		百貨店(総務担当)	・円安基調はこの先もしばらく変わらないとみられ、インバウンドが全体をけん引する。一方、国内客の消費動向の大幅な改善は期待できない。
		百貨店(総務担当)	・来店客数、購買量共に引き続き好調に推移している。しかしながら、人件費や物流コストの増加、新紙幣切替対応など物価上昇圧力が強まり、物価高の影響が続くようであれば、個人消費は落ち込むリスクがある。
		スーパー(店長)	・円安はこれ以上進まないと予想している。
		コンビニ(店長)	・一時の値上げラッシュに対する緊張はやや緩んだが、日々の生活の中では無駄な物を買わないことが定着しており、今後も変わらない。
		衣料品専門店(店長)	・必要な物以外は買い控え傾向にあるため、現状維持が精一杯である。
		高級レストラン(経営者)	・約1割の値上げを行ったが、現状では影響なく推移している。ただし、仕入価格上昇により利益率は変わらない。
		一般レストラン(経営者)	・夏休みにはいろいろな客、特に観光客、ファミリー、学生が多く来てくれる。
		一般レストラン(経営者)	・これから蒸し暑い夏がやってくる。飲食店には辛い季節になるため対策を考えているが、なかなか難しい。
		通信会社(営業担当)	・良くなる要素が残り見当たらない。
		競馬場(職員)	・物価上昇が続く。
	やや悪くなる	一般小売店[和菓子](経営者)	・ゴールデンウィーク以降、販売量の動きが少ない。
		一般小売店[事務用品](営業担当)	・年度末の需要が終わったため、今後は下がる傾向にある。ただし、何か1つのきっかけで上がったたり下がったりする可能性はある。
		高級レストラン(副店長)	・7~8月は宴会が少なくなるので、今月より減少する。また、暑さが厳しいとフリー客の来店も若干減る可能性がある。
		都市型ホテル(営業担当)	・夏休み期間の動き次第である。
		旅行代理店(店長)	・円安、物価上昇による海外旅行申込者の減少が予想される。
		理容室(経営者)	・物価上昇が続くとみている。
悪くなる	-	-	
企業 動向 関連	良くなる	その他サービス業[ビルメンテナンス](営業担当)	・前年と同様に売上が推移しているため、それをベースに考えると、大幅に良い数値を見込める。
	やや良くなる	印刷業・製本業(営業担当)	・賃金の上昇により消費が回復傾向にあることに加え、定額減税等の家計支援策などが個人消費を多少なりとも後押しする。
		建設業(営業担当)	・仕事量が増加している。
		建設業(経営者)	・公共、民間工事共に引き合いが多数ある。
		通信業(営業担当)	・得意先の活動状況も活性化している。
		不動産業(企画担当)	・ターミナル駅前エリアなどの再開発ビルでは多くの引き合いがあり、テナントの入居が決定し始めている。繁華街の飲食店ではランチタイムに行列ができ、夜の来店客も増えている。
		卸売業[機械器具](営業担当)	・受注件数が少しずつ増えており、2~3か月後に売上が計上できそうである。
その他サービス業[ビルメンテナンス](管理担当)	・労務費や部材費の増加により、以前よりも利幅が大きくなっている。受注量も増加している。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	変わらない	出版業（営業担当）	・円安、値上げの傾向は変わらず、インバウンドとは無関係の業種では良化は望めない。	
		建設業（経営者）	・物価と賃金の上昇率を考えると、大きな変化はない。	
		輸送業（従業員）	・福祉事業は利益が出ないので営業収入も少なく、給料にも反映されない。	
		通信業（営業担当）	・需要が増えている反面、人件費、材料費の高騰により値上げせざるを得ない状況もあり、需要を抑制してしまう面がある。	
		金融業〔証券〕（営業担当）	・クライアントの今期計画を見ると、やはり中小企業を中心になかなか厳しい状況である。賃金の上昇と原材料等の値上がり効いているようである。実際には、インバウンドを中心にそれなりに売れているのだが、実質賃金のマイナスにみられるように、内需としての消費は辛い状況となっており、今のところ、改善する兆しはみられない。	
		卸売業〔繊維・衣服等〕（経営者）	・海外需要は増加が見込めるものの、国内状況の改善には期待が持てない。	
		卸売業〔繊維・衣服等〕（経理担当）	・特別悪い情報も良い情報もない。	
		卸売業〔機械器具〕（経営者）	・取引先の話ではどこも変化の兆しがみられない。	
	やや悪くなる	やや悪くなる	卸売業〔機械器具〕（支社長）	・コストが高止まりしている。利益率を重視しているが、明るい兆しは見えない。
			経営コンサルタント	・現状のまま変わらない状態が継続する。
			新聞業（営業担当）	・引き続き一部の業種に見通しを上回る受注が見込めそうだが、全体的には弱含みに推移するとみている。
			出版業（経営者）	・物価上昇により買い控えが広がる。
			印刷業・製本業（経営者）	・受注が思ったほど伸びていない。
悪くなる	悪くなる	建設業（営業担当）	・受注が伸びない。	
		卸売業〔飲食料品（鮮魚）〕（経営者）	・海外に比べて経済力が本当に弱くなってしまった。30年間何をしていたのか。政府の施策がひど過ぎる。未来が見えない。	
		その他サービス業〔造園・園芸〕（営業担当）	・今夏も猛暑が予想され、その影響で品薄になり、秋の仕入価格の上昇が予想される。年々、仕入単価が上がっているが、なかなか自社の販売価格を一律で上げることは難しい。	
		-	-	

(別紙) 調査客体の分野・業種別人数構成

分野	業種	調査客体数 (人)
合計		50
家計動向関連		25
	小売関連	15
	商店街・一般小売店	5
	商店街代表者	0
	一般小売店経営者・店員	5
	百貨店	4
	百貨店売場主任・担当者	4
	スーパー	2
	スーパー店長・店員	2
	コンビニエンスストア	1
	コンビニエリア担当・店長	1
	衣料品専門店	2
	衣料品専門店経営者・店員	2
	家電量販店	0
	家電量販店経営者・店員	0
	乗用車・自動車備品販売店	1
	乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	1
	その他小売店	0
	住関連専門店経営者・店員	0
	その他専門店経営者・店員	0
	その他小売の動向を把握できる者	0
	飲食関連	4
	高級レストラン経営者・スタッフ	2
	一般レストラン経営者・スタッフ	2
	スナック経営者	0
	その他飲食の動向を把握できる者	0
	サービス関連	6
	旅行・交通関連	3
	観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0
	都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	2
	旅行代理店経営者・従業員	1
	タクシー運転手	0
	通信会社	1
	通信会社社員	1
	レジャー施設関連	1
	観光名所・遊園地・テーマパーク職員	0
	ゴルフ場経営者・従業員	0
	パチンコ店経営者・従業員	0
	競輪・競馬・競艇場職員	1
	その他レジャー施設職員	0
	その他サービス	1
	美容室経営者・従業員	1
	その他サービスの動向を把握できる者	0
	住宅関連	0
	設計事務所所長・職員	0
	住宅販売会社経営者・従業員	0
	その他住宅投資の動向を把握できる者	0
	その他家計の動向を把握できる者	0
企業動向関連		25
	農林水産業従業者	0
	鉱業経営者・従業員	0
	製造業経営者・従業員	5
	食品製造業	0
	繊維工業	0
	家具及び木材木製品製造業	0
	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
	出版・印刷・同関連産業	5
	新聞業	1
	出版業	2
	印刷業・製本業	2
	その他出版・印刷・同関連産業	0
	化学工業	0
	石油製品・石炭製品製造業	0
	プラスチック製品製造業	0
	窯業・土石製品製造業	0
	鉄鋼業	0
	非鉄金属製造業	0
	金属製品製造業	0
	一般機械器具製造業	0
	電気機械器具製造業(精密機械を含む)	0
	輸送用機械器具製造業	0
	その他製造業	0
	非製造業経営者・従業員	20
	建設業	4
	輸送業	1
	通信業	2
	金融業	2
	不動産業	1
	卸売業	6
	繊維・衣服等	2
	飲食品	1
	建築材料・鉱物・金属材料等	0
	機械器具	3
	その他卸売業	0
	サービス業	4
	広告代理店・新聞販売店[広告]	0
	司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	1
	コピーサービス業	0
	その他サービス業	3
	その他非製造業	0
	その他企業の動向を把握できる者	0